

# バストス週報

第二百一十一号  
昭和廿九年  
四月十八日  
発行  
DIRECTOR  
KOITI MORI  
事務所  
RUA PRES.  
VARGAS 188  
REDATOR  
SHION ODA  
C.P. 112  
BASTOS  
誌代  
一年60¢  
外部70¢


## バストスの前進は 一元化あるのみ

(完)

下元 健吉

バストス産業組合は不幸窮地に陥つて  
いる。藩部と時代は順調であつたが、現  
在は私が前例を以て申す少くも、現  
道がなくなつてしまつてゐる。これは  
「思ふ」之をいかに懸念すべきであらうか  
。バストスを一元化して前進すべきこと  
考へる点に於て、コチヤは決して人懐  
つるものではないと思ふのである。  
口先きで打つて一丸となれと、一元化  
してといつても各人にその心懸へがな  
れぬなりぬが、先づその前提として、コチ  
ヤの布いてゐるレールをよく研究して、い  
たゞきよいコチヤがどの程度進歩して  
いかん走りかしてゐるか、コチヤの構  
よく検討して頂きたい。  
バストス全体が立ち上る。バストス全体  
が前進する。斯くならぬはなうぬと諸君  
御考へたなるなりは、コチヤの現在歩  
てゐる道乃至歩む方をよく見て貰ひ、後  
と思ふ。もし悪い所大膽があれば遠慮な  
く非難してもらひたい。そして完全無  
の組合なる看板を掲げた機関車を走らせ  
てもらいたい。念願するものである。  
三つも四つも機関車を走らせて居ても  
それは決してバストスの力にならな  
ない。又決して前進もしないであらう。  
之を一つに打ちかため、レールを布く、廣  
軌のレールを敷き、山があればトンネル  
を、谷が深い河には鉄橋をかけ、その上  
バストス組合なる機関車を走らせて走らせ  
る。ようにして頂きたい。  
その様に私は希望して居るのである。  
私の信念は組合抜きにしては何もないの  
である。組合と共に生き、組合と共に進  
んで来た私の諸君に對する注意は只一つ  
自立自営の確固たる精神と信念を以て、  
大いに見地から考へ、且つ進んでもら  
の一言に盡さる。  
吾々の組合運動はコチヤ全体の向上  
となり、否、ブラジル全体の利益になる連  
大且つ高邁なものでなくてはならぬ。それ  
が云ひ替へれば各人々々の生活を向上す  
る道となるのである。  
吾々は響を並べ、頭(馬首)を揃え、後

Alfrietaria  
Imperial  
Maru yama



上品な  
洋服は  
マルヤマ  
で

## 大阪屋の家具

木工仕事一切 御用命願ひます  
シネマ館の向側

## 結核に わかせと

結核は遺伝しません  
結核性體質は  
わかせとを続けければ  
強力な体質になります

体質は  
いでも  
します

結核性  
わかせとを  
続けければ  
強力な体質  
になります

バストス代理店 Yamada  
SASAKI  
Nishi Kawa  
Iitakari



WAKAMOTO

製造元 東京 わかせと製薬株式会社  
伯國總代理店 聖パウロ薬局

社長 中久保 益太郎  
C.P. 3656 TEL. 32-4445

運しないよう、相互にぶつからないよう  
注意したいものである。  
バストスのことばはバストスの人々が考へ  
るべきものであり、バストスの道徳はバス  
トス人が成り固く可きは言を待たない。  
コチヤはバストスの一元化運動の邪魔を  
するなどといふ氣持ちは毛頭もつて居ら  
ぬ。バストスの人達が真に覚醒されて遠  
かつお一九となつて進歩するの日はある  
切に希望するものである。  
(講話の大要 了り)

二れより約一時間質問応答あり、二三を記  
すこととする。







ントに上る起大なものである。それ故に  
その仕事に成功して、その幾分なりとも補  
ふことが出来れば伯國國家に對してもさ  
水産業方面に於て盡すことになるので、委  
我を感じてゐる。

商業を志して戦事勃發により志成ら  
ず、組合運動に滿五年全力を傾注した  
が、今回聖市に転進する事となつたの  
で遂にコナヤ倉庫を引退することにな  
つたと約廿分にわたり、二十数年の思  
ひ詰を吐いた。

田中氏の出發が早才。た關係が、送別會に  
通知された人も出来、寄りにはや少か  
たが何れも旧友揃、中にはケンカ友達と  
名乗り四五の盤者が懐旧演説、次は、ト  
自慢、最後は螢の光の合唱で日去度々十  
一時散會した。

尚田中氏の家族は当分元の住居で暮ら  
れ家で見付かつたら、徐ろに出発との事だ  
ある。田中氏も当分は行つたり来たりと  
ぶふところ。

バストスから氏の如き大物を失ふのは  
惜しいが、他面田中氏はバストス出身の  
成功者として輝いてくれる事により、バス  
トスの鼻は大きいに違ひなく、天狗に近  
うんといふのが送別演説の骨子をなして  
いた。奮闘且つ自愛の志む。(係り)



### 四 移住地大會の

#### 第一夜 (聯青・小沢)

三月二十六日より八日迄三日間に  
て行はれる四移住地野球大會に参加すべ  
く廿五日東天紅を考へる頃バストスを出  
発した我々がアリアンサに着いたのはキ  
右一時、産業組合事務所にて井浦久造君  
下設へ



### 鮮魚がたくさん

サントスの網船より  
毎日直送されて参ります

セマナ、サントスを過ぎますれば  
ピチ／＼とした生きのよいペーシガ  
ぐつとお安く差上げられます

### 野菜とペーシエ

何でも弊店で揃ひます  
御利用下さい

キタシカ 古 沢 商店

アネフル バロス街

組合長に面會す。温厚な方で宿舍の手配  
も行届いていた。

第二アリアンサは中心地とはいへ、何と  
なく淋しい山の中、といふ感じでもちろを  
見てもカ、ロココニオンの連続であるが  
バストスの様に町外れから鶏舎が柱人で  
鶏鳴の轟まじいこともなく、自動車トラク  
ターの騒音もなく至って静かである。又  
行きかう村人も十数年前のバストス人達  
と同じように渡伯當時を思はせる服装を  
見かけた。それだけ地味で健康な道を歩  
みつゝあるとも言えようか、青年連にも  
頭をひか、輝かせた文明人とは一人も  
見当らぬ、真面目にてまじきと働いてい  
るのが印象的だ。之れは吾々にとつ  
て一服の清涼劑である。

二十六日夜八時より四移住地事情懇談  
會が開かれることになつて来たが、キエテ  
の代表が見えぬので九時迄魚鳥に過した  
ことは残念だ。會は運沼信一氏の司  
會で進行して行つた。

アリアンサの青年は男女合せて八十名  
ばかり列席してゐた。會は自己紹介に始  
まり、バストス、アサイ、代表のアリアンサ  
見聞の感想發表があつたが皆御世評はう  
まい様だ。続いて青年団の勤向發表。

先づアリアンサ青年団長より報告による  
と現在男子青年百四十五、女子百四十七名  
と支部に別れ、支部長が居て連絡を取り  
毎月各支部の行事、作文等と果して月報  
を發行してゐる。体育部は野球陸上、バス  
ケットボール等を行ふ。産業部は各地の  
見学旅行、視察を行つてゐる由である。

次いでバストス聯合青年団の現状報告  
が西団長によつて行はれた。現在行はれ  
てゐる文化産業研究會の目的とその方法  
について詳細に語られるとアリアンサ青  
年連は目を輝かして傾聴してゐた。又女  
子青年団の料理生花等の講習に對しても  
何もヤツてゐないアリアンサ女子青年は  
非常に共鳴してゐたようである。

アサイの木村君は現在トレスバラスは  
十六区二十四家族の日本人が居住し、経済的  
には恵まれてゐるが二派が対立して互に  
ゆからず、事々しいがみ合ふので何一つ  
まとまらなかつた事が出来な。残念下ら報告  
すべし何物も持つてゐない。純真で希望を抱く  
年の副産物とは云へ、純真で希望を抱く  
男女青年がそれだといふのであろうか？  
今度はそのスボーツについて

司會、近頃のスボーツは娯樂的なスボ  
ツに見えろが諸君はスボーツは娯樂で  
あるがそれとも身心の鍛練にあるか、  
お考へをさかして頂きたい。

西団長、少くとも青年のスボーツは行ふ  
者自身、少くとも身心の鍛練を旨とし  
スボーツによつて醸し出される修養を  
把握せんとする目的を持ち、たゞ娯樂  
的に面白半分にするものでは絶対にな

らな

らな

らな

らな



# 電気配線

蛍光灯取付け

ラジオ用ヒリア

電気器具修理

ハストス唯一の店

トランスフォーマルマドール各種

一切御用命にたじます

上ヶ島商店

ロドビアリア前の角

# カキシブ

柿液

血圧の高い人は試みられよ

朝夕 茶匙で一杯づつ冷水にうすめて服用す。副作用ありません

昔から漢方の名薬として知られ、今日尚多くの同病者を救って居ります。

ころはぬ先の杖！

アルト区 西 忠 良

アルト区迄来られぬ方は週報社に四五本おいてある故、はじりうん下さい

## ハストス短哥會報

ハストス短哥會第四十一回例会を四月十一日池田ホテルに開催し席九名、欠席短哥二名。成績得点最高九点菊子、秋扇、霜月、八点修水、六点千工、技美以下畧

高島歌六点 山本 秋扇  
秋扇に小波立てて井戸端の涙みおき水に落葉漂ふ

次点菊四点 森重 技美  
いつまでも仔山羊は鳴けり病院の白きベッドに子うをし思ふ

雨とふる気配に馬を這ひ立ててバタタバの霞土急ぎぬ

三点歌以下各一首先 吹本 菊子  
人通りツき道にバス埃り浴びて柿うるモレノの父子

妻妾の争を聞けり移長史も五十年過ぎて單純ならず

しまらくを街の繁華にとまりおる鞍耕車の鶏関とのこり

築立島は親鳥をまねて囀れり夕映明らき枯木にとまら

愚かれと思ひつゝもくとくと注意線返す發ち行々音子に

あれこれとスタイルバック見入る娘の凝とそとそと似合ひからぬに

丹燒く煙漂ふ真昏の並木の道に神父さんと逢ふ

妻といひはたまに子と言ひ合ひるもの如く思へど時にしかり

一かつ、林檎もたされ見送られ

村き守る農家まほらや秋の風

月ほめて風流人といふべきか

秋風は我追ふ如し歩を居り

林檎よし馬車南部の盛園よ

慶遊が奈良に京都に訪日園

歯ぐきより血をにじませて林檎食ふ

半分は林檎もかける程の仲

逃休る鹿道ふ大一瞬にて送か

いと思ひます。

アリアンサ青年 スポーツは各自が興味を持ってやっているので、娯楽のようには思えらるかも知れませんが、任命中は勝つが負けるが真剣にやっているので苦です。決して娯楽ではありません。

司會 娯楽について。現在の農村には娯楽が不足している。故に青年が町をめぐられるのではないかと、

本田氏(正確を) 娯楽といふ点では、その家長に娯楽に対する理解があれば即座に解決する。問題ではないのでせうか。

娯楽といふからには大なり小なり費用がかかる。娯楽一つ買ふに支出が伴います。故に家長たる者が金儲けだけを目的にして居るならは、そんな金のかゝる事はやめてくれな

いだろう。反対に家長が子供の養育に音楽に耳をかたむけ、一しよに歌ふといふ様ならば、又明日への新しい力が湧くのではないでしようか。と自家の娯楽面を簡単に説明して、

一家和合してこそ真の農村の発展があるのでは無いでしょうか。世間にはよく娯楽といへば、のど自慢や演藝会など、大々的にやるが、其処進行しては、娯楽を通り越して居ると思ふ。(以下次号)

## ハストス仙人堂句會 (四月四日)

七点句 舌功れし風鈴軒に秋の風 子エ

六点句 鹿狩ると新玉の勢子に狩りまされ 糸香

四点句 上陸を明日に控えて月のリオ 和枝

三点句 取られし窓の照葉を見て病める 菊子

二点句 下段へつゞく

秋 廟

水仙子

奇峯

紀南子

南天子

里女

北 眠

春 歩

龍 巻







けて赤色攪乱をせんとし、北朝鮮の  
 方ウツ等事件、滿蒙方面の、モンハン事件  
 がそれであるが、英米仏又の連合に對し  
 日本は獨行と結んで防共協定をやつた。  
 時にドイツは既に第二次大戦を目論みし  
 ヲトラは日本に同盟を申込んでいたが我  
 が平沼内閣ではこれを不可とし決定を  
 ぶつていた。ヒトラーは突然獨ソ不可侵條  
 約を結んで大いに英仏をたたいだ、いかん  
 せん食糧不足の苦しみが大さかつた。ソ  
 レンの殺害といわれるウツイナに目を  
 つけて遂にソ聯と戦ふ事になつてしまつた。  
 獨ソ戦に對して日本は黙視した。緒戦  
 にソ聯は敗れたが、よくねはつて遂に伯林  
 を攻奪するに到り、存太利は地中海より  
 北進した連合軍に敗れ、遂に於て全世界  
 が日本に矛を向け、英米は日本に向つて支  
 那から兵を引け、アジアの自立運動から手  
 を引けといふ。今更そんまことが出来る  
 ものか、米國經濟漸行の一手真綿を首と  
 締めてくるので日本は非常に苦んだ。東  
 亞政策を放棄せんか、自滅するは明らだ  
 食ふか食はれるか、乾坤一擲、遂に十六年  
 十二月八日我軍は真珠湾の奇襲作戦を敢  
 行して世界に第二次大戦に矛一步をふみ入  
 れたのである。

日本は自活する為めに東亞政策は必  
 然不可避の道であつた。東條元首相は戦犯  
 として東京裁判の時「日本は戦はざるを  
 得なかつた自衛の戦行である。戦勝國一  
 方に對する國運裁判などに服す覚えなし」と  
 叫び、インド代表ネールもその無罪を主  
 張して居たのである。

日本は十六年十二月十日宣戦布告後、  
 各國民にレジオを以て、巨道の試をつくし  
 各自の持場を守るよう、呼びかけた。米主  
 の彈圧に堪忍袋の緒を切つて宿敵米と戦  
 ふこととをちかい、米を撃つて世界平和に  
 貢献する決意をかためた。國民は一人残  
 らず立ち上り平和産業をやめて戦時体制  
 に切りかへた。棉は火薬に使ふので國民  
 の被服に支障を来たすので棉を作物と指  
 導され、各工場は飛行機や兵器に早変わり  
 國內では数百万といふ兵を出すことにな  
 ったが戦況は連戦連勝、世界はこの有様  
 に瞠目して驚嘆したのであつた。ことに  
 シンガポール攻奪の勝利はめざましかつ  
 た。しかし近代戦は物量の戦ひである。神  
 經戦である。南方で勝利を得つ、ある同  
 盟日本は朝鮮滿州の交通を遮断され敵の  
 潜水艦の活躍になやまされた。戦況は次  
 々に日本に不利となる。吾々は毎日兵を  
 送つた。朝に出征兵を送り、夕には南洋か  
 らの遺骨を迎へる日があつた。かくて日  
 本は混頓たる非常時の様相を深くしつ、  
 あつた。人手が足らんといふので戦時特  
 別法令により男子十五才より二十才迄

を徴用令で工場に送つたがまだ足りぬ、  
 そこで今度是小商工業業者は、國家が配  
 給制を執るから不要であるとして之を皆工  
 場へ送つた。最後に学徒動員令が出て女  
 学校の生徒まで皆軍需工場へ送られた。し  
 農村には男がなくなつてしまつた。しか  
 し農村食料増産命令があるので、肥料が  
 ない人手が足りないといつて居れば、老人  
 も立ち上つて働き、人手の足りない処へは小  
 生が勤勞奉仕に行つて協力した。この勞  
 働問題では政府も非常に頭を悩ました。政  
 府は統制配給令を出して大人一人一人七  
 匁、小人七匁、芋が配給され、米は減ら  
 された。軍需は米一日四合支給された。  
 服装も今迄のようにならぬ。着物の下駄  
 はきでは駄目だといふので婦人はモンヤ  
 を作つた。電氣はなし、ロソフはなし。  
 そのくらがりで縛つた人さへあつた。  
 政府は農家から米を皆買上つた。かくす  
 と掃査されたものである。勿論自由賣買  
 は禁じられ、米は十日毎に分  
 配し野菜も統制配給である。やみ取引を  
 するにも物がなない仕方がないから、イモの  
 つるや南瓜のつるさへ食ふといふ。食生活  
 の難儀といふものは實にいひどいものか皆  
 苦勞を重ねたのであつた。  
 子供が可愛想なもので、ひもじうはないか  
 と尋ねると世界平和の爲の戦争を勝ちぬ  
 かねばならぬと学校の先生から教へられ  
 ているので、かまんするといふ。かへつて  
 大人の方が教へられる有様である。  
 薪の如きも配給であつたから東京の如  
 き大都會では非常に困り壁をこわし堀を  
 はいで燃料にする始末だつた。(以下次号)

移 轉 開 業

旧營業所ツクダオインシーナより  
 今般業務擴張の爲め

新營業所へかわりました

ポスツエツツの横  
 ブラ拓事務所のまむかい

で御座います

仕事は確實・丁寧・迅速  
 何卒 今迄通り御ヒイキに  
 御願申上ります

オインシーナ

A B E C.P.105

阿部 五 郎



# バストス二十五年史刊行に就いて

後援 バストス聯合日本人會

一九〇八年六月十九日、サントス港の望戸丸から、手に手に日の丸とブラジルの小旗をうち振りながら、第一回日本移民の人たちが始めて、ブラジルの大地に足を踏み下しました。その後星霜移ること五十年に亘るとし、日系人は既に四世を含めて約四十万人と推算されて、いわゆる、コロニア・ニッポンのブラジルに占める座付、主として經濟面に於て牢固として扱へばかろうぶるものを見るに到りました。

運まじい開拓の意氣、烈々たる開墾、洋々たる未来への翹望は胸を嚙む懸念、幻滅、悲哀と交錯しながらも、亜熱帯の次天下に營々として斧を揮ひ、鋤を握って私共日本移民は、ブラジルの未開の地を拓いて参りました。ブラジルの農業に於けるコロニア・ニッポンの偉大なる寄与に疑をさしはさむ者はありません。しかしその栄光の蔭に私たちは如何に多くの尊い開拓の犠牲者を見てゐることでしよう。人跡未踏の原始林、病巣の不生の原野が、緑濃さ豊饒なる如非園、椰畑さでは蔬菜園と化すところ、そこに空しく埋められた若人の青春の挽歌があり、かの血べ、この森蔭に点々として白い木の墓標の無言の歎きがあり、過労に身を削る移民妻の聲なき號泣があります。

わがバストス移住地の開拓は實に一九二九年に始まりました。インテオの原始的な農耕の跡をとどめ、カネイラの樹點綴するこの地に、日本直來の拓士によつて第一斧が下されてより早くも四半世紀が過ぎ去つたのであります。今日のわがバストスが築き上げられる迄の榮枯盛衰、重疊する波瀾の過去は、さながら全ブラジルに於ける、コロニア・ニッポンの縮図とも呼び得ました。バストスは移民の故郷慕参りしと詠まれた句は、バストス移住地に中かりのあるなしに拘らず、多くの人々の胸底に、移住者の功なる、懸念と、諦觀に似た落着の感懐とを湧かしめるものがあります。わがバストス移住地はコロニア・ニッポンの存する限り、永久に忘じ難い土地となりました。

二十有餘年前、新しい人生の展開をこの未開の地に期して入植し、土と共に生き、土と共に哀歡を分け合つた建設の尊い先駆者たちも、或いは既に幽明境を異にし、或いは閑雲野鶴を友とし、或いはまた今尚矍鑠として第一線に活躍されて居ります。しかしながら、山燒の煙、天日を覆う日、椰畑の一隅に、椰子の木陰に、母の乳房を求めた幼児であつた人々の世代に、今やバストスは移りつ、あります。運まじも強い歴史の必然であり、バストス移住地の輝かしい黎明であります。

暗い夜が長い程、朝は明るいと、言はれます。けれども、明るい暁を避へると、暗がた夜は忘れられてしまふ勝ちです。そして人は、ともすれば現在のみに安易に肯定して過去を軽へじ、歴史を創つた人達をややもすれば疎んじ、顧みようとしないものがあります。

今日、コロニア・ニッポンに破廉恥の事件の續出を見るに到りました。一因は、半世紀に及ぶ同胞の物心両面に亘る苦難の建設史を裏ろにするからに外なりません。八重の潮路けるかにブラジルに渡つて来、この地を第二の故郷と定めて、營々辛苦を重ねた全同胞の血と涙と汗の堆積を踏みにじるものであります。多くの先人たちが捧つた尊い犠牲の歴史、そしてその尊い歴史をうけついで、更に一層輝やかしいものにして、これを次代におくる、この人間の使命、義務を更めて確認すべきであると思ひます。多くの植民地史が既に刊行されてゐるに拘らず、わがバストス移住地のそれが今日迄刊行されなかつたといふことは極めて遺憾と申すべきであります。しかして下らあらゆる意味に於て今こそその必然の時機と信じます。不肖非力を省みず、この大業完遂を決意しまして之をバストス聯合日本人會に諮ります。幸ひにその企圖に賛同され全面的協力をお寄せ下さることになりました。ここに於て、バストス聯合日本人會御後援のもとに、「バストス二十五年史」編纂刊行に一路邁進致すことになりました。より完璧、より史実に忠実、より良心的な「バストス



二十五年史の完成は、各位の積極的な御協力を俟たぬは到底期し得るもの  
はありません。バストスの地に生き抜いて来られた方々は申す迄もなく、この地  
出身、この地に多少とも中かある移住地外居住の方々の熱誠なる御助力を切  
に希望致します。

全バストス人の烈々たる愛郷の熱意と、不肖刊行者の献身的努力凝って一巻  
の青史「バストス二十五年史」成るの日の一日も速かならんことを期しつゝ、

一九五四年四月

バストス二十五年史 水野昌之

編纂刊行責任者

聖市アベニグナリベルムス二十一番地

七階七一一七二号室 電話三六・二九七四

### バストス二十五年史 刊行後援趣旨

去る三月二十二日開催のバストス聯合日本人會理事會に於いて、当縣日  
會は、元ブラジル拓殖組合本部「史編纂主任の要職に任られた水野昌之  
氏の「バストス二十五年史」編纂刊行企劃に絶大の賛意を表し、これが  
完成のため全面的後援を行う旨決議致しましたことは、既に各位御了承の  
通りであります。

ブラジル拓殖組合最初の經營殖民地として世人注目のうちにも多難の路を  
辿って今日に及びました我がバストス移住地の歩みを、一史書にまとめ上  
梓し、これを永く後世に残すことは、極めて意義多く、また絶対必要事項である  
との見地から、当縣日會は水野氏の事業を後援することになったのであります。  
この書を及ぶ限り完璧なものたらしめ、また一日も早くその出版を遂行せしめ  
るためには、バストス移住地在住者各位の御支援はもとより、在外バストス移住  
地出身者、関係者各位の御助力を仰がねばならぬことは申す迄もありません。

水野氏はブラジル拓殖組合本部御在勤中、数回に亘って来植され当移住  
地に関する「史的造詣の深い方であり、當縣日會では三名の編纂監  
修者を選任して水野氏に協力せしめ、我が郷土バストス二十五年の史的記述  
の一層の正確を期すること致しました。

編纂者水野氏の御希望と一まては、四半世紀に亘る移住地の史的記述  
を緯とし、今日の大バストスを、あらゆる意味、あらゆる面において形成し来た  
人々の紹介を経として、單にバストス移住地のみならず、第二の故國たるブラジ  
ルの産業文化への貢献者としてクロスアツクしたいとの趣きであります。

私たちバストス人が血と涙と汗とをこめて開拓し、艱難辛苦經營して参りま  
した愛するバストスの、春秋二十五年の逡巡が今や一巻の史書として成されし  
うとて居ります。

我がバストス聯合日本人會は、私どもの史書の刊行完遂を期して、後援の爲  
め今や立ちました。全バストスの在住者各位、在外バストス出身、関係者諸賢の  
絶大なる御協力、御支援を切望して止みません。

一九五四年 四月

バストス聯合日本人會

各位